

---

---

Oracle(R) Hyperion Enterprise Performance  
Management Architect, Fusion Edition

リリース 11.1.1.3

---

ファイル・ジェネレータ・ユーザー・ガイド

**ORACLE**  
ENTERPRISE PERFORMANCE  
MANAGEMENT SYSTEM

Copyright © 2006, 2009, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: Performance Management Architect Information Development

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アSEMBル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントが、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供される場合は、次の Notice が適用されません。

#### U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、このソフトウェアを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよびドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても、一切の責任を負いかねます。

---

# 目次

---

<b>第 1 章 Performance Management Architect ファイル・ジェネレータのインストール</b> .....	5
<b>第 2 章 Performance Management Architect インポート・ファイルの生成</b> .....	7
Financial Management ファイルから .....	7
Financial Management アプリケーションから .....	8
Planning アプリケーションから .....	9
Profitability and Cost Management アプリケーションから .....	10
Performance Management Architect アプリケーションから .....	11
Microsoft Excel から生成 .....	11
Financial Management 次元の関連付け .....	15
次元の削除 .....	16
ファイル・ジェネレータを閉じる .....	16
<b>索引</b> .....	17



# 1

## Performance Management Architectファイル・ジェネレータのインストール

Oracle Hyperion EPM Architect, Fusion Edition ファイル・ジェネレータを使用して、次のソースからインポート・ファイルを作成できます:

- 既存の Oracle Hyperion Financial Management, Fusion Edition ファイル (.PER、.SEC、.XML メタデータ・ファイルなど)

**注：** サポートされているのは Financial Management .XML フォーマットのメタデータ・ファイルのみです。 .APP フォーマットは直接にはサポートされていませんが、システムから XML フォーマットにメタデータを抽出して、コンバータを使用できます。

- 既存の Financial Management アプリケーション - バージョン 11.1.1 以降
- 既存の Oracle Hyperion Planning, Fusion Edition アプリケーション - バージョン 11.1.1 以降
- 既存の Oracle Hyperion Profitability and Cost Management, Fusion Edition アプリケーション - バージョン 11.1.1 以降
- 既存の Performance Management Architect アプリケーション(連結、Planning および汎用アプリケーション・タイプ) - バージョン 11.1.1 以降
- Microsoft Excel ファイル

Performance Management Architect ファイル・ジェネレータを使用するには、Microsoft .NET Framework バージョン 2.0 が必要です。Microsoft .NET Framework は <http://msdn.microsoft.com/downloads> からダウンロードできます。

- ▶ Performance Management Architect ファイル・ジェネレータをインストールするには、EPM System インストーラを使用します。

『Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System インストールおよび構成ガイド』を参照してください。



# 2

## Performance Management Architectインポート・ファイルの生成

### この章の内容

Financial Management ファイルから .....	7
Financial Management アプリケーションから .....	8
Planning アプリケーションから .....	9
Profitability and Cost Management アプリケーションから .....	10
Performance Management Architect アプリケーションから .....	11
Microsoft Excel から生成 .....	11
ファイル・ジェネレータを閉じる .....	16

- ▶ Performance Management Architect のファイル・ジェネレータ・ユーティリティを開くには、スタート、プログラム、Oracle EPM System、Foundation Services、Performance Management Architect、EPMA ファイル・ジェネレータの開始の順に選択します。

**ヒント：** 『ファイル・ジェネレータ・ユーザー・ガイド』にアクセスするには、「ヘルプ」をクリックします。

## Financial Management ファイルから

インポート・ファイルを作成するには、次の Financial Management ファイル・タイプが必要です:

- アプリケーション・プロファイル・ファイル(.PER)
- セキュリティ・ファイル(.SEC)
- メタデータ・ファイル(.XML)

- ▶ 既存の Financial Management ファイルからインポート・ファイルを作成するには:  
1 HFM ファイルからをクリックします。

- 2 プロファイル・ファイル(.PER)、セキュリティ・ファイル(.SEC)およびメタデータ・ファイル(.XML)を選択して参照します。
- 3 EPMA インポート・ファイルの名前を指定するか、既存ファイルを検出して上書きします。
- 4 オプション: テキスト・エディタにインポート・ファイルを表示するには、表示をクリックします。
- 5 オプション: 次元の接頭辞を入力します。
- 6 実行をクリックします。

## Financial Management アプリケーションから

既存の Financial Management アプリケーションからインポート・ファイルを作成できます。

- ▶ 既存の Financial Management アプリケーションからインポート・ファイルを作成するには:

- 1 HFM アプリケーションからをクリックします。

- 2 次の情報を入力します:
  - ユーザー名およびパスワード

- ワークスペース URL
  - Financial Management Web URL
  - Financial Management アプリケーション名
  - クラスタ名
- 3 EPMA インポート・ファイルの名前を指定するか、既存ファイルを検出して上書きします。
  - 4 オプション: テキスト・エディタにインポート・ファイルを表示するには、表示をクリックします。
  - 5 オプション: 次元の接頭辞を入力します。
  - 6 実行をクリックします。

## Planning アプリケーションから

既存の Oracle Hyperion Planning, Fusion Edition アプリケーションからインポート・ファイルを作成できます。

▶ 既存の Planning アプリケーションからインポート・ファイルを作成するには:

- 1 Planning アプリケーションからをクリックします。

- 2 次の情報を入力します:
  - ユーザー名およびパスワード
  - ワークスペース URL
  - Planning Web URL
  - Planning アプリケーション名
  - アプリケーション・サーバー名(アプリケーション・サーバー名はクラスタ名です。)
- 3 EPMA インポート・ファイルの名前を指定するか、既存ファイルを検出して上書きします。

- 4 オプション: テキスト・エディタにインポート・ファイルを表示するには、表示をクリックします。
- 5 オプション: 次元の接頭辞を入力します。
- 6 実行をクリックします。

## Profitability and Cost Management アプリケーションから

Performance Management Architect の既存の Profitability and Cost Management アプリケーションからインポート・ファイルを作成できます。

- ▶ 既存の Profitability and Cost Management アプリケーションについてインポート・ファイルを作成するには:

- 1 EPMA アプリケーションからをクリックします。

Step	Status	Processing Item	Details
1	Completed	Generating EPMA file	Generating the EPMA import file completed!

- 2 次の情報を入力します:

- Oracle Enterprise Performance Management Workspace, Fusion Edition へのログインに使用するユーザー名とパスワード
- Performance Management Architect Web サービス URL
- Oracle Hyperion Profitability and Cost Management, Fusion Edition アプリケーション名
- インポート・ファイルの保存場所
- オプション: 次元の接頭辞

- 3 実行をクリックします。

.ads ファイルが作成され、アプリケーションをソースとして使用します。成功メッセージがステータスの下に表示されます。

# Performance Management Architect アプリケーションから

Performance Management Architect アプリケーションからインポート・ファイルを作成できます。

- ▶ Performance Management Architect アプリケーションからインポート・ファイルを作成するには:

## 1 EPMA アプリケーションからをクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled 'EPMA File Options' with several tabs: 'EPMA File Options', 'From HFM Files', 'From HFM Application', 'From Planning Application', 'From EPMA Application' (selected), and 'From Excel File'. The dialog contains the following fields and controls:

- 'Please enter the User Name:': Text box containing 'admin'. To its right is a 'Password:' label and a text box containing '\*\*\*\*\*'.
- 'Please enter the EPMA Web Services URL:': Text box containing 'http://EPMA server/port/HyperionEPMA'.
- 'Please enter the EPMA Application name:': Text box containing 'EPMA\_1'.
- 'Please specify the EPMA import file:': Text box containing 'C:\EPM\_Architect\Sample ADS and Flat File\FlatFile.ads'. To its right is a folder icon and a 'View' button.
- 'Dimension prefix (optional)': Text box containing 'DEMO\_EPMA'.
- At the bottom left is a 'Help' button. At the bottom right are 'Execute' and 'Close' buttons.

## 2 次の情報を入力します:

- ユーザー名およびパスワード
- Performance Management Architect Web サービス URL
- Oracle Hyperion EPM Architect, Fusion Edition アプリケーション名

**注:** アプリケーション・ビューを特定して抽出することも、共有ライブラリ全体を抽出することもできます。共有ライブラリ全体を抽出するには、アプリケーション名を指定するフィールドに「Master」と入力します。

- 3 EPMA インポート・ファイルの名前を指定するか、既存ファイルを検出して上書きします。
- 4 オプション: テキスト・エディタにインポート・ファイルを表示するには、表示をクリックします。
- 5 オプション: 次元の接頭辞を入力します。
- 6 実行をクリックします。

## Microsoft Excel から生成

Microsoft Excel ファイルからインポート・ファイルを作成できます。Excel ファイルで、新規次元を作成したり、次元およびメンバーのプロパティを編集できます。

▶ Microsoft Excel ファイルからインポート・ファイルを作成するには:

1 Excel ファイルからを選択します。

2  をクリックし、作成する Excel ファイルの場所およびファイル名を入力し、保存をクリックします。

3 実行をクリックし、Excel を起動し、ファイルを開きます。

**注：** ファイルを開くとき、マクロを使用可能にする必要があります。

「別名」および「次元の関連付け」の2つのシートを持つ Excel ワークブックが作成されます。各ワークブックに、「別名」シートおよび「次元の関連付け」シートはそれぞれ1つのみ含まれます。

4 「別名」シートで、使用する言語別名を入力します。

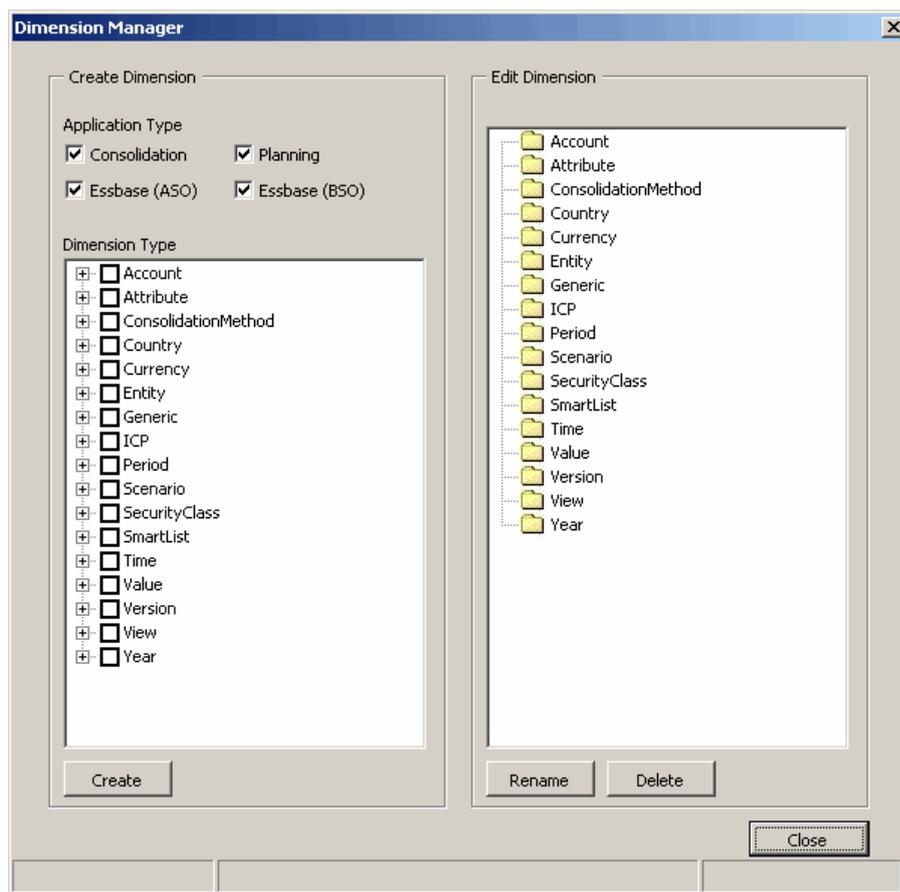
Name	DimensionClass
Alias	Alias
Parent	Name
#root	English
#root	French
#root	Spanish
#root	German
#root	Japanese

**注：** ワークブックで次元を作成する前に、「別名」シートに言語を入力してください。このようにしておけば、自動的に列が次元シートに追加されるので、メンバーの別名を同じ行に入力できるようになります。次元を作成した後に言語を追加すると、メンバー別名用の列を手動で追加する必要があります。

5 EPMA ユーティリティ、次元の管理の順に選択します。

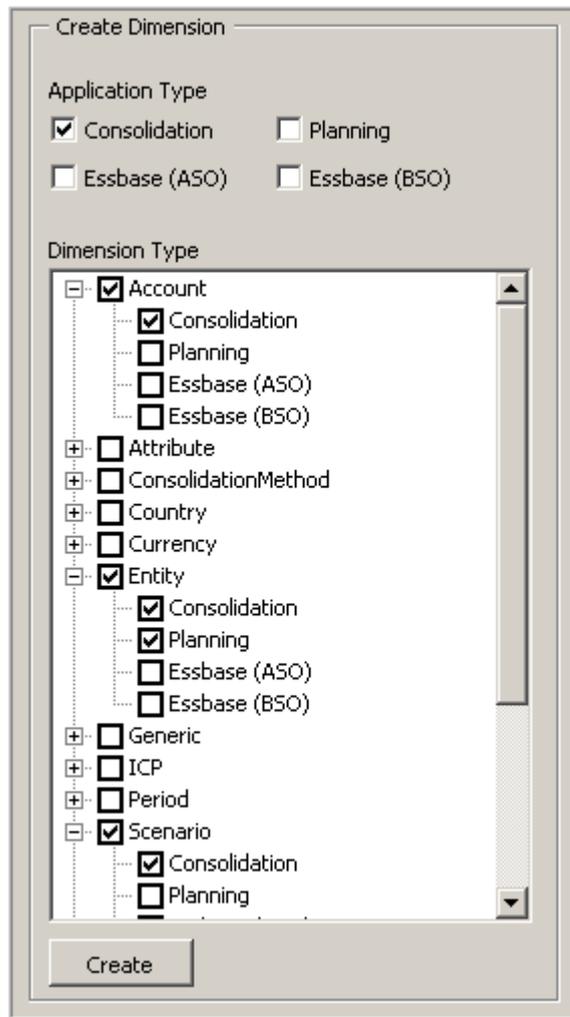
**ヒント：** Excel 2007 では、「EPMA ユーティリティ」にアクセスするためのアドインをクリックすることが必要な場合もあります。

6 次元マネージャで、次元を作成するアプリケーションを1つ以上選択します。



**注：** 選択するアプリケーション・タイプによって、次元シートの列に表示されるメンバー・プロパティが決まります。「連結」を選択した場合、連結カテゴリのメンバー・プロパティのみが表示されます。すべてのアプリケーション・タイプを選択した場合は、すべてのカテゴリのすべてのメンバー・プロパティが表示されます。

**7** 作成する次元を選択します。



**注：** 次元ベースで、次元にアプリケーション・タイプを追加できます。

**8 作成をクリックします。**

作成する次元ごとに、シートが Excel ワークブックに追加されます。

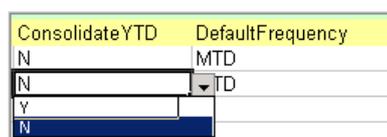
各次元シートに対して、シートの行 1 の列ヘッダーは次元プロパティです。シートの行 4 の列ヘッダーはメンバー・プロパティです。

1	Name	DimensionClass	DimensionAlias	AllowDuplicatesInDimension	CommentDuplicate	ConsolidationDuplicate	DataStorageDuplicate
2	Scenario	Scenario					
3	Parent	Name	Description	Alias	ConsolidateYTD	DefaultFrequency	DefaultParent
4	#root	Actual	Actual		N	MTD	#root
5	#root	Budget	Budget		N	MTD	#root

**9 各次元ごとに次元メンバーおよびメンバー・プロパティを入力します。**

次元メンバーは親列および名前列に入力します。次元の最上位メンバーには、親列に「#root」と入力します。

プロパティを変更するには、セル内をクリックし、ドロップ・ダウン・リストを表示し、そこからプロパティ値を選択するか、情報を入力します。



10 EPMA ユーティリティ、次元の関連付けの順に選択します。

注： 次元の関連付けについては、15 ページの「Financial Management 次元の関連付け」を参照してください。

11 「ターゲット次元」列で、セルを選択し、ドロップ・ダウン・リストから次元を選択します。

12 EPMA ユーティリティ、フラット・ファイルの生成の順に選択します。

13 ファイル内で使用するファイルの区切り文字のタイプを選択します。

14 フラット・ファイルの生成をクリックします。

15 フラット・ファイルの保存をクリックして、ファイルを.ADS フォーマットで保存します。

## Financial Management 次元の関連付け

Oracle Hyperion Financial Management, Fusion Edition では、次元によっては他の次元と関連付ける必要があります。次の表に、ソース次元、プロパティ名およびこれらが関連付けられるターゲット次元を示します。

表 1 Financial Management の関連付け

次元(ソース)	プロパティ名	次元(ターゲット)
勘定科目	Plug Account	勘定科目
	Alias	別名
	Custom1-Custom4 Top Member	カスタム 1-カスタム 4
	Security Class	セキュリティ・クラス
連結メソッド	Alias	別名
通貨	Alias	別名
カスタム 1-カスタム 4	Alias	別名
	Security Class	セキュリティ・クラス
エンティティ	Alias	別名
	Currency	通貨
	Holding Company	エンティティ
	ICP Top member	ICP
	Security Class	セキュリティ・クラス
	Security As Partner	セキュリティ・クラス
ICP	Alias	別名
	Security Class	セキュリティ・クラス

次元(ソース)	プロパティ名	次元(ターゲット)
期間	Alias	別名
シナリオ	Alias	別名
	Security Class	セキュリティ・クラス
	Default Frequency	表示
	Default Frequency For IC Transactions	表示
値	Alias	別名
表示	Alias	別名
年	Alias	別名

## 次元の削除

▶ 次元を削除するには:

- 1 Excel で次元ワークシートを選択し、EPMA ユーティリティ、次元の削除の順に選択します。
- 2 削除する次元を選択します。
- 3 削除をクリックし、次元を削除します。

**注:** 「別名」ワークシートまたは「次元の関連付け」ワークシートは削除できません。

## ファイル・ジェネレータを閉じる

- ▶ EPMA ファイル・ジェネレータを閉じるには、「閉じる」ボタンをクリックします。

# 索引

---

## A - Z

Financial Management

次元の関連付け, 15

Financial Management アプリケーションから生成

インポート・ファイル, 8

Microsoft Excel

生成元, 11

Performance Management Architect

生成元, 11

Planning アプリケーションから生成

インポート・ファイル, 9

## あ行

インストール

ファイル・ジェネレータ, 5

インポート・ファイル

Financial Management アプリケーションから生成, 8, 9

Financial Management から生成, 7

Microsoft Excel から, 11

Performance Management Architect から, 11  
生成, 7

## さ行

次元の関連付け

Financial Management, 15

生成

Financial Management からのインポート・  
ファイル, 7

インポート・ファイル, 7

## は行

ファイル・ジェネレータ

インストール, 5

